

シートベルトの着用状況について

1 シートベルト着用状況の調査結果

警察庁及び一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が、令和2年10月19日（月）から11月13日（金）の間に合同で実施したシートベルト着用状況の全国調査結果は、次のとおり。

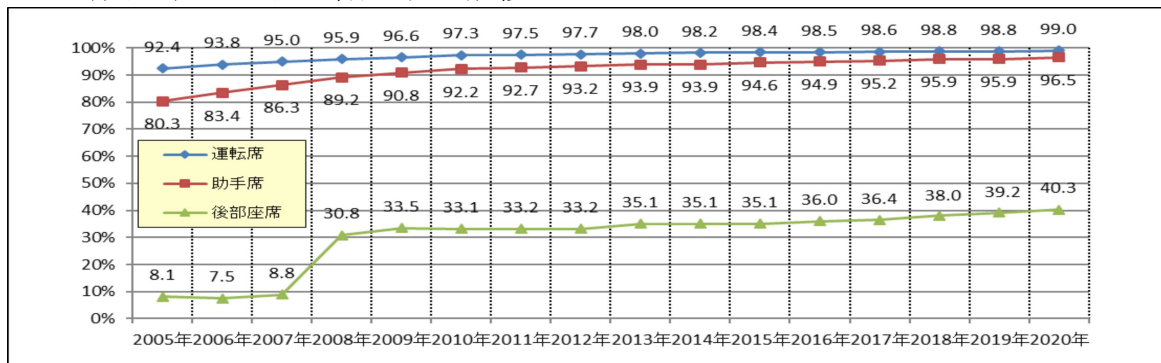
○ 一般道路

| 調査対象 | 着用 | 非着用 | 合計 | 着用率 | (前年比) |
|---------|---------|--------|---------|-------|----------|
| 運 転 者 | 299,978 | 3,113 | 303,091 | 99.0% | (+0.2pt) |
| 助手席同乗者 | 46,783 | 1,715 | 48,498 | 96.5% | (+0.6pt) |
| 後部座席同乗者 | 22,455 | 33,300 | 55,755 | 40.3% | (+1.1pt) |

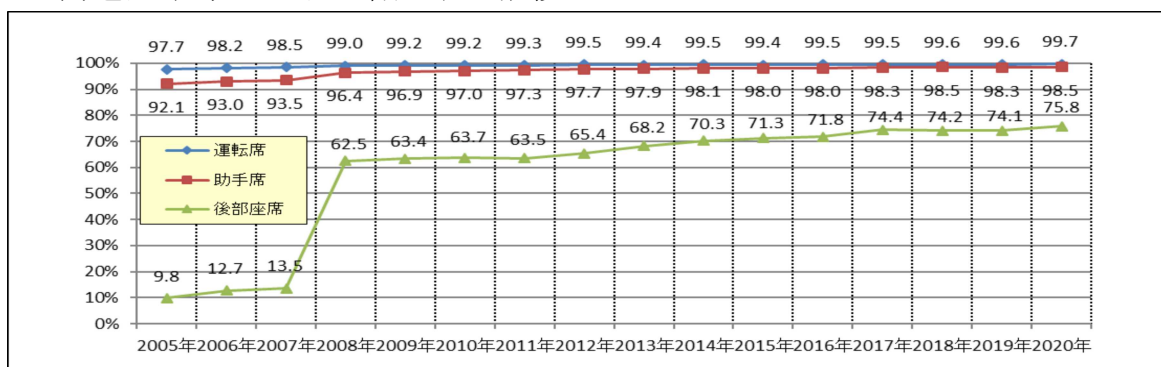
○ 高速道路等

| 調査対象 | 着用 | 非着用 | 合計 | 着用率 | (前年比) |
|---------|--------|-------|--------|-------|----------|
| 運 転 者 | 55,358 | 191 | 55,549 | 99.7% | (+0.1pt) |
| 助手席同乗者 | 17,946 | 265 | 18,211 | 98.5% | (+0.2pt) |
| 後部座席同乗者 | 10,519 | 3,354 | 13,873 | 75.8% | (+1.7pt) |

○ 一般道路における着用率の推移



○ 高速道路等における着用率の推移



2 今後の対策

- (1) 全ての座席におけるシートベルト着用の徹底を図るため、関係機関・団体等と連携した着用義務の周知
- (2) 特に、後部座席におけるシートベルト着用の必要性を訴えるため、衝突実験映像等を活用するなどして、着用の有効性・被害軽減効果を実感できる交通安全教育の推進
- (3) 交通指導取締りの推進

シートベルト着用状況全国調査結果(2020)

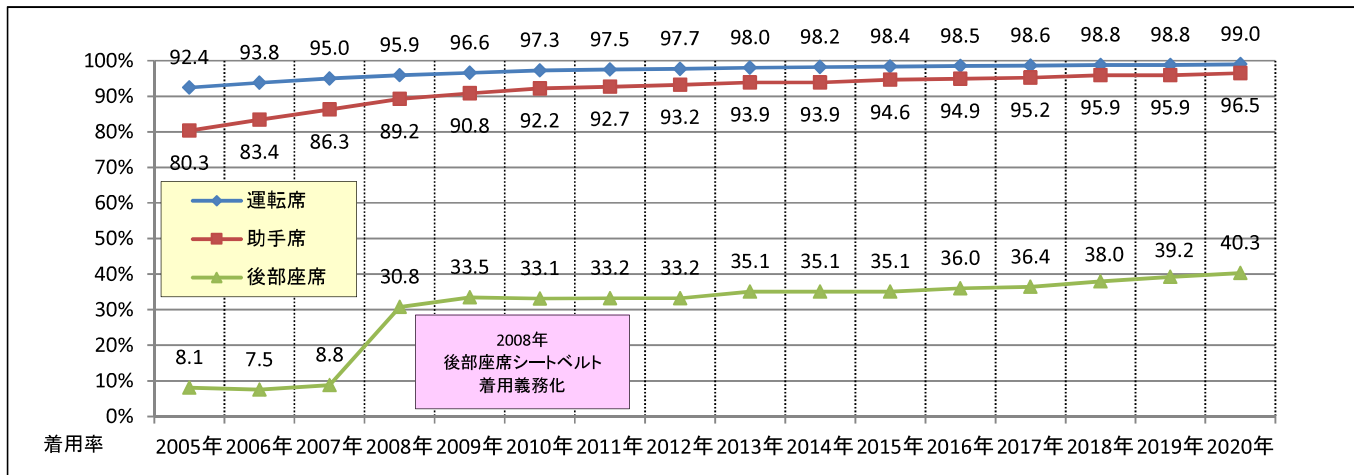
■ 一般道路

| 調査箇所数 | 調査対象 | 着用 | 非着用 | 合計 | 着用率 |
|-------|---------|---------|--------|---------|-------|
| 782 | 運転者 | 299,978 | 3,113 | 303,091 | 99.0% |
| | 助手席同乗者 | 46,783 | 1,715 | 48,498 | 96.5% |
| | 後部座席同乗者 | 22,455 | 33,300 | 55,755 | 40.3% |

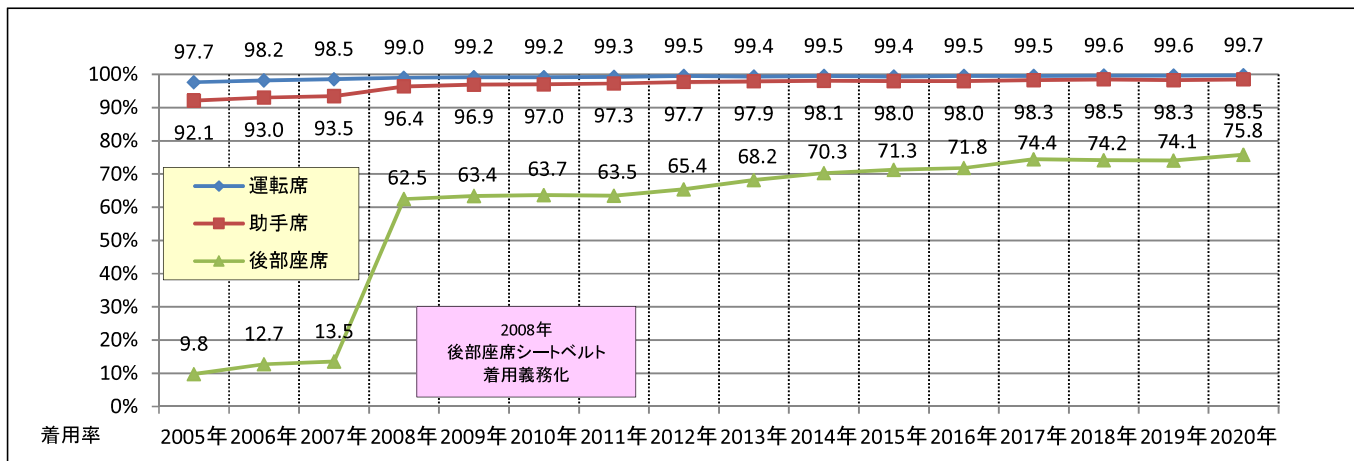
■ 高速道路等(自専道を含む)

| 調査箇所数 | 調査対象 | 着用 | 非着用 | 合計 | 着用率 |
|-------|---------|--------|-------|--------|-------|
| 105 | 運転者 | 55,358 | 191 | 55,549 | 99.7% |
| | 助手席同乗者 | 17,946 | 265 | 18,211 | 98.5% |
| | 後部座席同乗者 | 10,519 | 3,354 | 13,873 | 75.8% |

■ 一般道路における推移



■ 高速道路等における推移



■ 調査の概要

1 調査目的

シートベルトの着用状況を調査、公表することにより、シートベルト着用の促進を図ることを目的とする。

2 調査期間

2020年10月19日(月)～11月13日(金)

3 調査箇所

- (1) 一般道路 : 全国782箇所
 (2) 高速道路等 : 全国105箇所

4 調査人数

- (1) 一般道路 : 運転者 303,091人 助手席同乗者 48,498人 後部座席同乗者 55,755人
 (2) 高速道路等 : 運転者 55,549人 助手席同乗者 18,211人 後部座席同乗者 13,873人

5 調査方法

目視による

6 調査対象

(1) 対象車両

- ① 運転者・助手席同乗者: 軽自動車、小型自動車及び普通自動車(事業用自動車及び外部に荷台を有する貨物自動車を除く)
 ② 後部座席同乗者 : 乗用の、軽自動車、小型自動車及び乗車定員10人以下の普通自動車(事業用自動車を除く)

(2) 対象者

対象車両の運転者及び同乗者(幼児及び着用免除事由該当者を除く)

